

再評価チェックリスト

1 事業概要

事業の名称	八王子都市計画道路3・4・28号線(Ⅱ期)		評価該当要件	10年間継続	1回目
実施主体	東京都(建設局)	事業所管部署	道路建設部街路課		
都市計画決定(当初)	昭和36年度	事業認可年度(当初)	平成25年度	事業期間: H25年度~R1年度	
都市計画決定(最新)	平成元年度	事業認可年度(最新)	令和元年度	事業期間: H25年度~R8年度	
事業箇所	八王子市石川町~同市宇津木町		事業規模	評価対象区間延長 1140m	
事業概要	<p>八王子市3・4・28号線は、国道16号とJR豊田駅北口に繋がる日野3・31号線を結ぶ延長約2.0kmの都市計画道路である。</p> <p>本事業は、多摩南北道路の一つである八王子村山線から八王子3・3・41号線までの延長1140mの区間について道路を新設するものである。</p> <p>本路線の整備により、八王子市及び日野市を結ぶ道路ネットワークが強化されるとともに、歩行者、自転車の安全性の確保、地域の防災性や利便性の向上、電線類の地中化や街路樹の植栽による良好な都市景観の創出などが図られる。</p>				

2 社会経済情勢等の変化(事業の必要性等に関する視点)

社会経済情勢等の変化 (認可時点から変化がある場合は変化・変更内容欄に記載)
<p>(社会経済情勢の変化)</p> <p>本路線周辺の平成27年度の現況交通量は、平成22年度と比較して、約1,700台/12h増加している。</p> <p>○現況自動車交通量(道路交通センサスによる)</p> <p>【一般国道20号】</p> <p>平成22年度: 16,949台/12h</p> <p>平成27年度: 18,738台/12h</p> <p>(関連する他事業等の進捗状況の変化)</p> <p>【八王子3・4・28(Ⅰ期)】</p> <p>・平成20年度に事業着手しており、用地取得は100%で工事は実施中。</p>

3 事業の投資効果(事業の必要性等に関する視点)

定量的効果 B/C	2.5		
現在価値化総便益額(B)	167.0億円	現在価値化総費用額	65.7億円
走行時間短縮便益	162.7億円	工事費	43.2億円
走行経費減少便益	3.2億円	用地費	17.2億円
交通事故減少便益	1.1億円	維持管理費	5.3億円
定性的効果	<p><交通></p> <ul style="list-style-type: none"> 交通渋滞の解消 物資流動円滑化への寄与 迂回交通の減少 <p><景観></p> <ul style="list-style-type: none"> 都市景観の向上 <p><防災></p> <ul style="list-style-type: none"> 緊急車両の走行 災害時の避難路の確保 消防活動困難地域の解消 <p><<らし>></p> <ul style="list-style-type: none"> 土地利用の転換・高度化 交通不便地域の解消 商業・産業の活性化 公共施設へのアクセス向上 <p><安全></p> <ul style="list-style-type: none"> 交通事故の減少 バリアフリー化 自転車や歩行者のための空間確保 		

4 事業の進捗状況(事業の必要性等に関する視点)

事業費の執行状況 (R3年度末時点)			
	用地費	工事費	合計
全体事業費	3,677百万円	2,600百万円	6,277百万円
執行済額	3,173百万円	347百万円	3,520百万円
(執行率)	86.3%	13.3%	56.1%
用地取得状況 (R3年度末時点)			
取得予定面積(A)	既取得面積(B)	用地取得率(B/A)	
15,775㎡	13,580㎡	86.1%	
一定期間を要した背景、地元の理解・協力の状況			
<ul style="list-style-type: none"> 多くの地権者から事業への理解・協力を得られたが、移転先選定等に課題がある一部の地権者との折衝に時間を要している。 沿道との高低差処理検討に時間を要している。 			
事業の進捗状況・残事業の内容			
<ul style="list-style-type: none"> 用地は86.1%取得済であり、残る未取得用地についても早期取得を目指し、折衝を進めていく。 用地取得状況を踏まえて、電線共同溝設置工事及び街路築造工事に着手していく。 			

5 事業の進捗の見込みの視点

事業の実施のめど、進捗の見通し等
<ul style="list-style-type: none"> 残る未取得用地についても早期取得を目指し、折衝を進めていく。 用地取得状況を踏まえて、電線共同溝設置工事及び街路築造工事に着手していく。

6 コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点

コスト縮減や代替案立案等の可能性
<p>(新工法の採用など)(事業手法、施設規模等の見直しの可能性)</p> <ul style="list-style-type: none"> 橋梁の設計にあたっては、取付道路に生じる高低差を最小限とし、工事全体にかかるコストを抑えるよう検討していく。 そのほか、一般的な街路築造工事部については、施工にあたって新工法、事業手法、施設規模等の見直しの可能性は極めて少ない。 <p>その他、日々の事業執行におけるコスト縮減等の取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> 施工にあたっては、建設発生土の再利用や再生材の使用を行っていく。 無電柱化にあたっては、東京都無電柱化計画(R3.6改定)を踏まえ、新材料等を積極的に活用し、コスト縮減に取り組む。

7 対応方針(原案)

総合評価	<p>(事業の必要性等に関する視点)</p> <ul style="list-style-type: none"> 八王子市及び日野市を結ぶ道路ネットワークの強化、歩行者、自転車の安全性の確保、地域の防災性や利便性の向上、電線類の地中化や街路樹の植栽による良好な都市景観の創出が図られる。 <p>(事業の進捗の見込みの視点)</p> <ul style="list-style-type: none"> 用地は86.1%取得済であり、残る未取得用地についても早期取得を目指し、折衝を進めていく。 用地取得状況を踏まえて、電線共同溝設置工事及び街路築造工事に着手していく。 <p>八王子3・4・28号線は、道路ネットワークの強化、歩行者、自転車の安全性の確保、地域の防災性や利便性の向上、良好な都市景観の創出の観点から、事業の必要性が高く、早期の効果実現を図ることが適切である。</p> <ul style="list-style-type: none"> 中止の場合は、事業効果を最大限発揮できないだけでなく、これまでの投資に見合った整備効果も得られなくなる。
対応方針(原案)	継続